



報道関係者各位
プレスリリース

2015年6月16日
株式会社はくばく

株式会社 はくばく カンボジア地雷原復興農業開発と サッカースクール交流に関するお知らせ

穀物カンパニーである株式会社はくばく(本社：山梨県南巨摩郡、代表取締役社長：長澤 重俊)は、株式会社日建(本社：南アルプス市、代表取締役社長：雨宮 清)の立ち合いのもとカンボジアのバタンバン国立大学と、カンボジア北西部の農業開発を目的とした雑穀栽培試験の委託契約を下記概要にて結んだ事をお知らせいたします。

URL : <http://www.hakubaku.co.jp>

記

株式会社はくばく は、株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブと株式会社日建が行っている東南アジアでの支援活動の一環とし、カンボジアでの農業開発支援に関する取り組みを行うこととなりました。

カンボジアでは、山梨県の面積とほぼ同じ4,544k㎡が地雷原です。これまで、カンボジア地雷対策センターが株式会社日建製の地雷除去機などを用いて625k㎡の地雷除去を行いました。しかし、地雷除去に携わる2,000名のスタッフのうち、約6割が再定住場所や農地を持っていないのが現状です。そこで、地雷除去地を農地や住居地として提供する開発戦略計画が2003年に制定され、地雷の直接・間接被害者が自立して生活できる環境改善を支援し、復興促進と平和で豊かな国際社会実現に寄与する事を目的に活動がスタートされています。

国内で流通している雑穀類(大麦・黒米を除く)のほとんどが海外から輸入されています。カンボジアではこれまで「もちあわ」などの雑穀類は、栽培されていません。今回、バタンバン国立大学では、農学部を中心に雨期・乾期があるカンボジア特有の環境下での「もちあわ」「もちきび」の生育試験を行います。また、地雷除去後の住人自立支援を目的に農業訓練を行う認定NPO法人豊かな大地(事務局：東京都台東区ノブノンペン、理事長：住岡 浩二)の、農業訓練対象者の農地でも試験栽培を行い、農地や農機具に適した栽培方法を検討します。

また、バタンバン国立大学にはサッカーチームがあり、農村では草原を裸足でサッカーボールを追う子供たちも見る事が出来ます。今後は、株式会社ヴァンフォーレ山梨スポーツクラブとカンボジアの子供たちとのサッカーを通じた交流も計画されています。

上記考えのもと、カンボジアの大地が、安全・豊かで笑顔で希望に満ちるよう、穀物のトップメーカーとしてさまざまな取り組みを積み重ねカンボジアの復興支援に努めて参ります。

契約日：2015年6月3日

期間：2015年7月1日から2016年6月30日

① 調印

右より日建代表取締役 雨宮清氏、
バタンバン大学学長 SEING EMTOTIM、はくばく:田辺征治



② 試験栽培予定地(大学構内の網室)



③ 試験栽培予定地(大学の圃場)



④ 試験栽培予定地(農地)と農家の方々



⑤ 地雷原



⑥ 地雷除去機



⑦ サッカーを楽しむ子どもたち(左端は牛)



【会社概要】

社名 : 株式会社はくばく
所在地 : 〒400-0598 山梨県南巨摩郡富士川町最勝寺 1351
代表 : 代表取締役社長 長澤 重俊
設立 : 昭和 16 年 4 月 15 日
資本金 : 98,000,000 円
事業内容 : 食品製造および販売
URL : <http://www.hakubaku.co.jp>

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】

担当 : 市場戦略部 広報 山下
TEL : 03-5623-3990
FAX : 03-3663-5891
E-mail : yamashita.nana@hakubaku.co.jp